

# 火災への備え

## 住宅防火の心得

- 調理中は、コンロから離れない



- 寝たばこは絶対にしない



- ストーブは、燃えやすい物から離れた場所で使用する



- 家の周りを整理整頓する

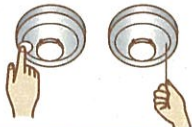
- ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない



- コンセントの掃除を心がける



- 住宅用火災警報器を設置する



- エプロンやカーテンなどは、防災品を使用する



- 万が一に備え、住宅用消火器を設置する



- ご近所同士で声をかけ合う

## 住宅用火災警報器の適切な維持管理

住宅火災による逃げ遅れを防ぐため、津海市火災予防条例が改正され、平成23年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

万が一の火災が起きたとき、住宅用火災警報器がしっかり動くよう点検をしましょう。

### ●点検の時期

1か月に1度を目安に点検をしましょう

### ●点検の方法

本体のひもを引くものやボタンを押して点検できるものなど、機種によって方法が異なりますので、警報器の説明書で確認しましょう。

### ●交換時期

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に本体ごと新しいものと交換しましょう。



とりカエル



## 火災発生時の行動

### ●通報・連絡

大きな声で「火事だー!!」と叫び、まわりに知らせる。声が出ないときは、音の出るものをたたいたり、非常ベルを鳴らす。どんなに小さな火事でも必ず119番通報する。

### ●初期消火

火災を大きくしないためには、できるだけ早く消火することが大切です。万が一のために消火器を備えておき、いつでも使えるところに置いておきましょう。

### 消火器の使い方



### 消火器の構え方

- ①火の風上にまわり、風上から構える
- ②やや腰を落として、低く構える
- ③炎を狙うのではなく、火の根元を掃くように左右に振る



※屋内で使用する場合は、逃げ道を確保してから使用する。

### ●衣類へ着火したら

地面などに横になって、転がるようにして消します。立ったままだと勢いよく燃え広がり、全身に燃え広がってしまいます。

### ●避難のポイント

- 天井に火が燃え移ったら、初期消火はあきらめすぐに避難する
- 避難するときは、燃えている部屋のドアを閉めて、空気の流入を防ぐ

### ■着衣に着火したときの対処法〈ストップ、ドロップアンドロール〉



服に火がついたまま走ると、かえって火の勢いを大きくするので絶対に走ってはいけません。その場に止まります。



地面に倒れ込み、燃えているところを地面に押し付けるようにします。体と地面をくっつけます。



地面に倒れたまま右に左にと転がります。転がることで服についた火を窒息消化させます。転がるときは、両手で顔を覆うようにしてください。顔への火傷を防ぎます。

